

第73期 **株主通信**

2023年4月1日から2024年3月31日まで

人と技術を活かし、  
常に社会から  
必要とされる集団を  
目指す。



## トップメッセージ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業の概況等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 大野 達也

### 経営理念

人と技術を活かし、  
常に社会から必要とされる  
集団を目指す。

### 当期の事業概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れによって、国内景気が下押しリスクにさらされるなか、全体としては、雇用・所得環境が改善する下、各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調にあるものと評されております。また、アジア・アメリカ・EU等、各地域からの輸入は概ね横ばい傾向ながら、輸出に

おいては円安効果もあって、アメリカ向けが増加しており、弱含んでいるアジア・EU向けの持ち直しとともにさらなる増加が期待されるところでです。徐々に高まる消費者マインドに基づく個人消費の回復や改善基調にある企業の業況判断と併せれば、今後さらなる企業収益改善が期待されるところでありますが、令和6年1月に発生した能登半島地震の経済に与える影響にも十分留意しつつ、これら動向や先行きを見定めようとする状況が続いております。

一方、公共投資につきましては、国の令和5年度一般会計予算の補正予算において約2.2兆円の予算措置が講じられ、補正後は前年度比2.5%増となり、令和6年度一般会計予算の公共工事関係費でも、当初予算は前年並みの予算水準となっております。公共工事請負金額が、対前年同期比74.6百億円増の105.3%の実績となっていることから、補正予算の効果とともに、引き続き堅調に推移していくことが見込まれております。

このような状況におきまして、当社グループ全体で受注活動に取り組んだ結果、当連結会計年度の受注高は、677億4千6百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

前連結会計年度比で建設事業、鋼構造物事業ともに減少となりグループ全体としても減少となりました。

当社グループの当連結会計年度における売上高は673億8千2百万円(前年同期比9.6%増)となりました。各セグメントにおいて前年同期比で増加となり、特に、鋼構造物事業において高い増加率となりました。また、受注残高につきましては、上記の受注及び売上の状況により、981億9千2百万円(前年同期比0.4%増)となりました。

当連結会計年度における売上原価は547億6千7百万円(前年同期比8.1%増)となり、売上総利益は126億1千4百万円(前年同期比16.5%増)となりました。売上高の増加に伴い、売上原価は増加となりましたが売上総利益においても増加となりました。

当連結会計年度における販売費及び一般管理費は、試験研究費、諸経費の増加により60億8千万円(前年同期比8.4%増)となりました。営業利益は65億3千3百万円(前年同期比25.3%増)、経常利益は65億8千万円(前年同期比21.2%増)となりました。

当連結会計年度における親会社株主に帰属する当期純利益は、46億3千2百万円(前年同期比18.1%増)となりました。

## 今後の見通し

公共投資市場は、防災・減災対策や将来を見据えたインフラ老朽化対策の推進、整備新幹線の着実な整備やリニア中央新幹線プロジェクトの推進、全国の高速道路の大規模更新工事及び4車線化といった事業が引続き

展開され、今後の建設需要は底堅い見通しであるものの、働き方改革に伴う協力業者を含めた人件費等の上昇や、引続き懸念される地政学的影響による原材料価格の高騰等により、今後の経営環境は厳しさを増すことが予想され、より緻密な戦略、対策、計画が求められるものと考えられます。

なお、2024年度の業績予想につきましては、売上高は大阪モノレール、北海道新幹線工事の計画延伸など一部の大型工事の進捗の遅れ等が見込まれるものの、前期からの豊富な繰越受注残高を背景に、他の新設橋梁工事、ニューマチックケーソン工事、補修補強工事が順調に進捗することが予想されることから、昨年実績比で若干の減収に留まり、過去複数年の実績比では高水準の売上高を維持する計画です。

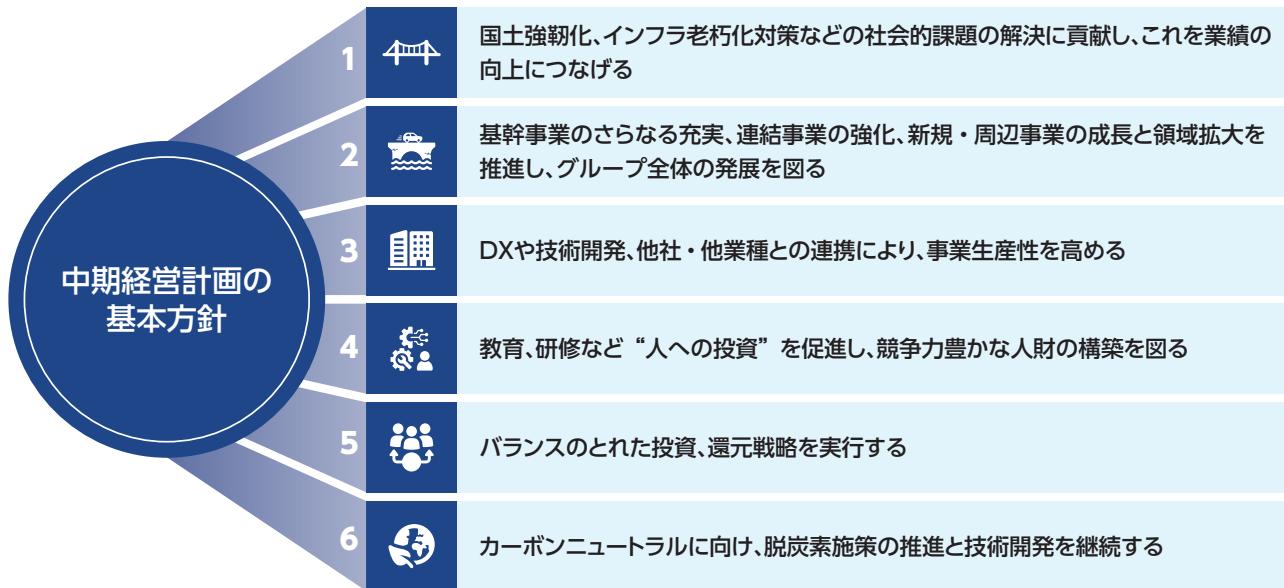
受注面では昨年同様に底堅い市況を想定しておりますが、競争の激化傾向は続くものと予想しており、当社の得意とする技術や特化工法の採用を推進し選別受注に努めるとともに、当社の技術優位性が発揮できる難易度の高い工事にも取り組むことで対応してまいります。

利益面では、昨年実績比を下回る見込みですが、これは、昨年度の大型工事の竣工に伴う設計変更による収益の押し上げ要因が今年度は剥落することや、手持ち工事は着工後の早期段階のものが総じて多く、主要な工事の竣工は次年度以降の予定であることから、利益率向上への貢献がそれほど期待できないことなどによるものですが、引続き、現場の創意工夫で一層の利益改善に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

# 中期経営計画の概要

## 基本方針



## 定量目標

### 企業価値向上と成長戦略

#### 持続的な売上の増加と収益の向上

	2023年3月期実績	2026年3月期目標
売上高	615億円	730億円
営業利益	52億円	62億円
当期純利益	39億円	45億円

#### 成長事業の基盤固め

	前中計累計	新中計累計
投資額	120億円	220億円
	2023年3月期実績	2026年3月期目標
D/Eレシオ	0.10	0.29

### 株主に対する還元効率

	2023年3月期実績	2026年3月期目標		2023年3月期実績	2026年3月期目標	
ROE	9.7%	9%以上		配当性向	40%	50%以上
				総還元性向	40%	70%程度
PBR	0.91	1.00以上		2023年3月期実績	2026年3月期目標	

## 投資戦略

基幹事業や連結事業（鋼構造物事業、港湾事業）の拡充と強化、新規・周辺事業の拡大を図る。

### 戦略実行に向けた組織、体制の強化

- 営業企画部の再編
- 経営戦略チームの新設
- 事業企画チームの新設
- 外部コンサルタントの活用
- 外部アライアンスの強化

## 新中期経営計画

(2023-2025年度)

投資総額

220 億円規模

## 前中期経営計画

(2020-2022年度)

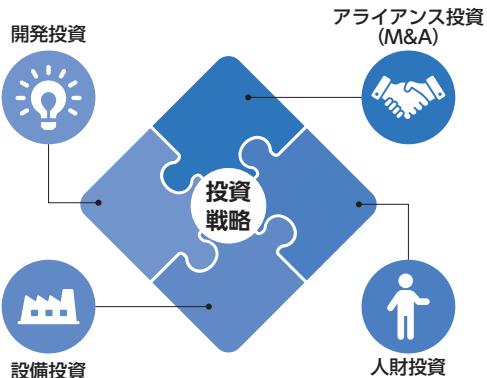
投資総額

120 億円

投資実績

- 研究開発
- M&A投資
- 既存施設、保有機材更新

対象	総額
經常投資(既存事業継続投資)	50億円
成長投資(成長機会創出投資)	110億円
戦略投資(資本業務提携)	60億円



## サステナビリティ戦略

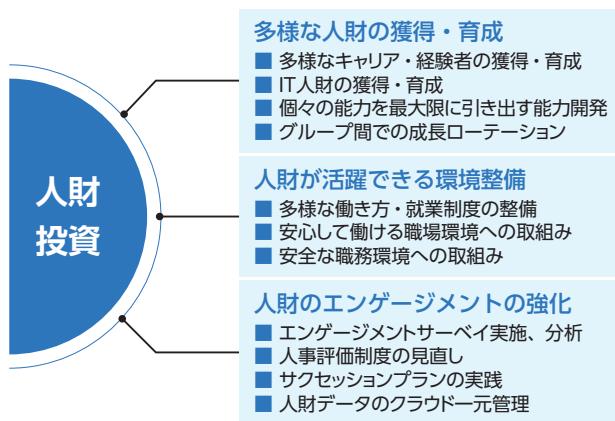
環境（カーボンニュートラルの実現に向けた取組）

2030年度CO<sub>2</sub>排出量削減目標とロードマップ(Scope1、2)

(基準年:2021年)	2021年度実績	2030年度目標	
売上高	607億円	900億円	
CO <sub>2</sub> 排出量(Scope1、2)	18,673t-CO <sub>2</sub>	19,000t-CO <sub>2</sub>	
売上高原単位	31t-CO <sub>2</sub> /億円	21t-CO <sub>2</sub> /億円	
削減率		約31%	
数値目標	2023-2025	2026-2028	2029-2030
削減率	12%	24%	31%
データ計測充実	→		
削減対策	→ ① ② ③ →		

- ① 管理評価の拡充、体制の確立
- ② 具体的な削減手法の試行
- ③ 外部イニシアティブの参画、活用

人財戦略：人財と技術の多様性を活かす働きやすさと働きがいのある魅力的な企業づくり



詳細は、当社ウェブサイトに掲載しております。

ウェブサイトURL : <https://ir.orsc.co.jp/ja/ir/management/plan.html>



# 業績ハイライト(中期経営計画の進捗)

## 売上と損益の概要

	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期		コメント
	実績	前期比増減率 %	実績	前期比増減率 %	実績	前期比増減率 %	
売上高	60,726	△3.5	61,480	1.2	67,382	9.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手持工事が総じて工程の遅れも無く順調に進捗</li> <li>● OSJB発足以来10年間で最高の売上高</li> </ul>
売上総利益	10,392	6.5	10,825	4.2	12,614	16.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PC土木、ケーソン、鋼構造物工事の売上増による利益向上</li> <li>● 大型工事の設計変更による利益向上</li> <li>● OSJB発足以来10年間で最高の営業利益</li> </ul>
営業利益	5,308	1.3	5,214	△1.8	6,533	25.3	
経常利益	5,460	2.2	5,427	△0.6	6,580	21.2	
親会社株主に帰属する当期純利益	3,778	△4.2	3,922	3.8	4,632	18.1	

### 売上高の推移 (単位:百万円)



### 営業利益の推移 (単位:百万円)



### 受注残高の推移 (単位:百万円)



売上高、営業利益、受注残高のいずれもOSJB HD発足以来10年間で最高を更新

#### 中期経営計画2017-2019

～「らしさ」で築きあげる安定と成長～

#### 中期経営計画2020-2022

～グループの「安定と成長」を止めない～

#### 中期経営計画2023-2025

～さらなる成長に向けた競争力の向上と新たな挑戦～

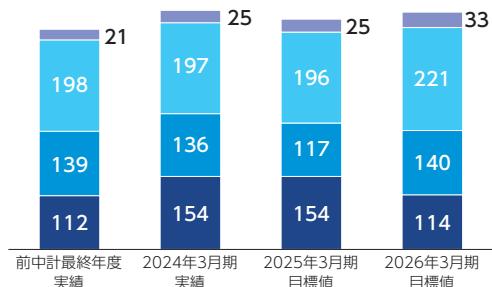
## 事業戦略の進捗

### 基幹事業

■ PC土木 ■ ニューマチックケーソン・一般土木 ■ 補修補強 ■ PC建築

#### 売上高

(単位：億円)

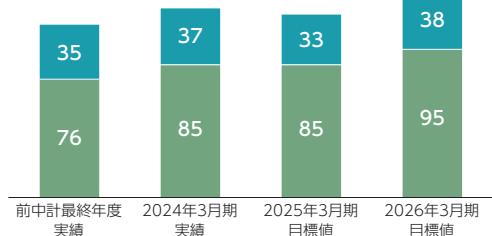


### 連結事業

■ 鋼構造物事業 ■ 港湾事業

#### 売上高

(単位：億円)



### 新規周辺事業

■ 新規・周辺事業

#### 売上高

(単位：億円)



#### 2024年3月期実績

- 上西郷、北勢第三高架橋、阪急淡路工区等の製品付き大型工事が順調に進捗
- 川袋小川橋、三遠南信3号橋の大型工事が着工
- 上小山田、勝川立坑ケーソンが無事沈設完了
- 全体的に期ズレが多いものの江東ポンプ場や笛吹川橋梁などの大型工事で一定の工事量を確保
- 床版取替工事等の大規模更新工事が順調に進捗
- 萬丈橋、松島高架橋、下谷高架橋等大型工事に期ズレが発生するも、2023年3月期と同程度の売上を確保
- アリーナ、競技場施設等の大型プレキャスト工事が進捗
- 年度末に防衛施設や半導体工場等の大型プレキャスト工事を受注

#### 2025年3月期予測

- すさみ串本道路 江田川橋、池田高架橋等の大型工事が順調に進捗
- 北海道新幹線 南一線橋りょうの施工が動き出す
- 江東や勝どきポンプ場などの大型工事が順調に進捗
- 契約時期の遅れでケーソンの売上が下がるが、次期以降に向けて立坑、ポンプ場の大型案件が控えている
- 床版取替工事等の大規模更新工事が順調に進捗
- 萬丈橋、松島高架橋、下谷高架橋、多摩川等の大型工事が進捗、引き続き高レベルの売上を見込む
- 手持ちの半導体工場や防衛施設関連の大型プレキャスト工事が順調に進捗
- 新規受注や技術営業を進め、売上や受注残の増加を図る

#### 2024年3月期実績

- 新設橋梁と補修補強工事をバランスよく売上
- メップ橋等の設計変更獲得によって収益増加
- プロジェクトの谷間にあるも、中小規模の港湾、建築、土木工事で売上確保
- 災害復旧工事の遅れがあるも単年度工事が順調に売上

#### 2025年3月期予測

- 利根川橋梁等の大型工事が順調に進捗
- 新設橋梁工事、補修補強工事に加え、ゼネコンからの補修補強下請工事で売上を確保
- 中小規模の港湾、建築、土木工事で売上確保するとともに、新造船を含むカーボニュートラルポートプロジェクトの準備を進める
- グループのシナジーが活かせる事業展開

#### 2024年3月期実績

- 床版・PCaコンクリート製品等の外販売上、太陽光発電、不動産賃料等で売上

#### 2025年3月期予測

- 上記に加え、海外工事に着工
- 床版を始めとするPCaコンクリート製品外販の拡大
- グループシナジーが期待できるM&A、官民連携業務の事業化を図る

# 業績ハイライト(中期経営計画の進捗)

## 投資戦略の進捗

区分	投資内容	投資予定額	投資実績額	活動状況
経常投資	継続的な研究開発	50億円	14億円	●材料や構造、新技術、新工法に関する研究課題、IT、DX、AI等を用いた生産性向上や脱炭素に関する技術開発に注力
	ケーソン設備・機材の更新			●ケーソン機材等の更新 ●ケーソン工法の大型工事に向けた台数増強、遠隔施工、大深度化、安全性向上に向けた機械の性能強化に投資
成長投資	地域戦略や事業領域の拡大	110億円	11億円	●M&Aの継続的検討 ●地域の選定、今後の市場動向及び、グループとの事業シナジーを調整 ●該当地域の企業(人材・強み)の把握、選定
	施工の自動化、省力化の推進			●橋梁架設施工機械の改造・製造 ●ケーソンショベルの掘削自動運転 ●業務効率化に資するシステムソフトの外注・取得
	工場の製造能力強化、港湾工事の強化			●コンクリート製品製造能力の向上を図る工場のリニューアル・増強 ●港湾工事の施工能力向上や環境対応を意図した新造船
	橋梁維持管理事業への投資			●橋梁維持管理事業を進めるための、補修補強機械や、計測機器、システム構築、調査・点検・補修会社のM&Aや提携
	人的資本への投資			●個々の能力を最大限に引き出す教育の強化 ●社員エンゲージメント調査実施 ●処遇改善など職場環境整備に投資
戦略投資	PCaコンクリート製品製造の強化 官民連携、地域戦略事業への投資 橋梁維持管理事業への投資	60億円	1億円	●PCaコンクリート製品販売強化に向けての戦略構築(提携、工場買収) ●循環型農業システム「アкваポニクス事業」の実用化に向けた投資 ●国交省による「インフラ運営等に係る民間提案型【官民連携モデリング】」における橋梁維持管理事業の成果品納品 ●いくつかの自治体に対して、同事業の展開交渉

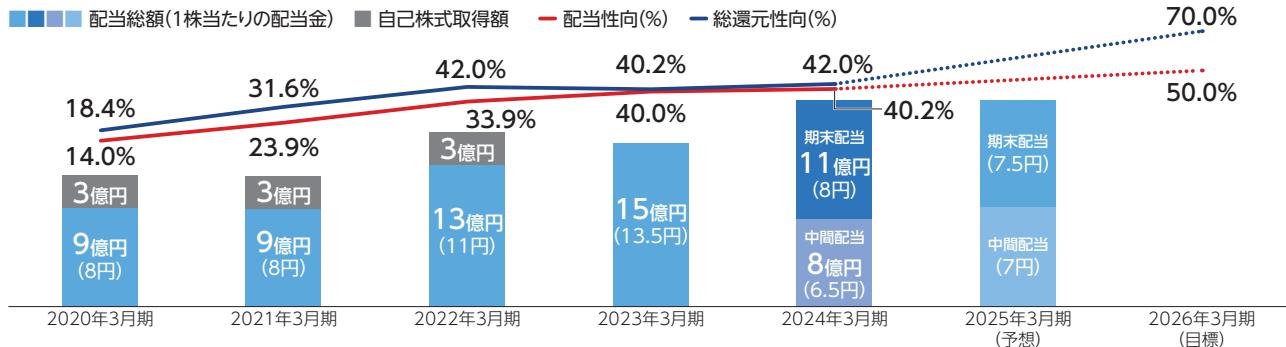
## 財務戦略の進捗

### 配当実績(2024年3月期) 14.50円(中間配当6.5円、期末配当8円)

企業実績、財務状況が安定していることを背景により株価が安定するよう中間配当を導入し、年間配当を1円増配しました。

安定的な利益配当を継続して実施することを基本方針としており、今後は、中期経営計画最終年度において配当性向50%以上、総還元性向70%程度の達成を目指してまいります。

	2024年3月期 実績	2026年3月期 目標
配当性向	40.2%	50%以上
総還元性向	42.0%	70%程度
ROE	10.1%	9.0%以上
PBR	1.1倍	1.0倍以上
D/Eレシオ	0.07	0.29



## サステナビリティピック

### マテリアリティの実行

マテリアリティ	活動
安全安心な生活に貢献するインフラ建築物の提供	品質の向上と維持・継続、組織強化
	良好な施工管理体制の維持、向上
	品質確保していくための技術継承
豊かな生活を維持、享受しながらの気候変動対策	技術開発を用いた脱炭素の推進
	事業におけるCO <sub>2</sub> 排出量の削減
	循環型社会の実現への貢献
	インフラ長寿命化を通じた環境負荷の低減
働きがいのある魅力的な業務環境の遂行	働き方改革、ダイバーシティ・インクルージョンの推進
	技術の継承と自覚の醸成
	経営理念や事業方針の共有と浸透
	お互いの尊重と共助・相互支援の意識づくり
	週休二日の実現と時間外労働時間の削減
	多様性の容認と自由度の高い就業環境の整備
	労働安全マネジメントシステムの徹底、事例研究に基づいた安全教育
	安全管理の徹底と安全意識の高揚、安全文化の定着
イノベーションによる省力化、高付加価値の創造	大学や他業種との共同研究等を通じたイノベーション創出と交流による事業PRの増進
	技術力による生産性のさらなる向上
	再生エネルギー・環境配慮型事業の推進
地域特性を加味した発展と貢献	現場見学会や情報発信を通じた建設業の理解促進とブランド向上
	災害の復旧工事関与による被災地支援
コーポレートカルチャーの醸成	コンプライアンスの徹底、リスク管理体制とプロセス管理の強化
	適切なサプライチェーンマネジメントの推進
	CSR調達の推進、技能労働者の育成支援

### ESG評価機関の結果

	2021年	2022年	2023年
CDP	C	B-	9月回答
FTSE	1.4	2.8	対応中

※ 着実に評価アップを遂行!

### サステナビリティに関する新たな取組み

#### E(環境): CO<sub>2</sub>排出量scope3の総量算定

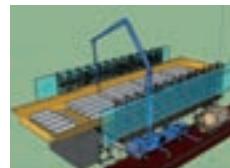
	2021年度	2022年度	2023年度
scope1	15,574	16,362	算出中
scope2	3,064	2,847	算出中
scope3	289,136	337,368	算出中

scope3も含めた新たな削減目標を検討中(SBTi認証取得を目指して)

#### S(社会): 2024年問題の対応

残業上限規制に対して、賃金制度及び労使協定を改訂し、現行法の遵守とともに従業員の士気向上を図る  
**業革推進部の活動**

業務均等化を図り、事務系職員による現場業務を実践



支援事例: 3DCAD図作成

	2021年度	2022年度	2023年度
実務(割振業務)数:現場	51	48	48
実務支援時間:h	3,629	6,080	6,068
現場職員残業時間:平均h/人	37.6	37.2	33.2

#### G(ガバナンス): 取締役会の実効性向上

- ① 経営戦略を踏まえた取締役会のスキルセットの確認・議論
- ② 経営戦略の審議充実のためのサポート体制の強化
- ③ マテリアリティや事業ポートフォリオといった経営課題に対しての審議機会の拡充
- ④ 取締役会全体の知識の充実を図るための役員トレーニングの実施

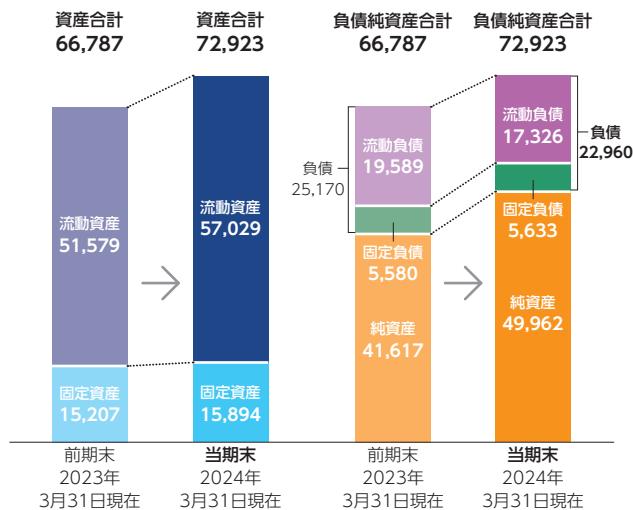
#### C(コミュニケーション): 対話機会の拡充

社内エンゲージメントの一環として社外取締役と従業員との対話機会の創出

# 連結財務諸表

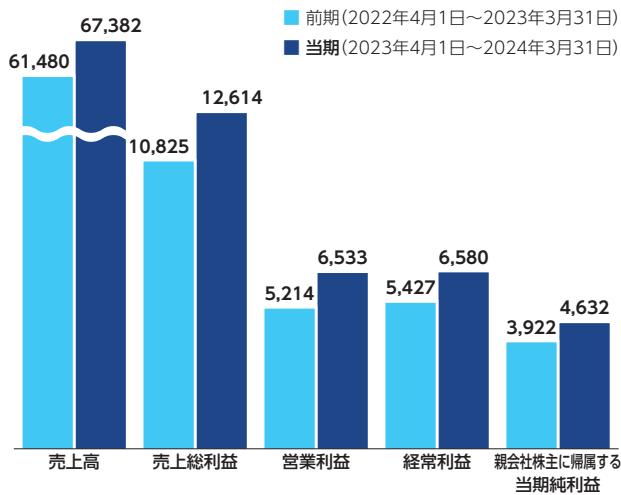
## 連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



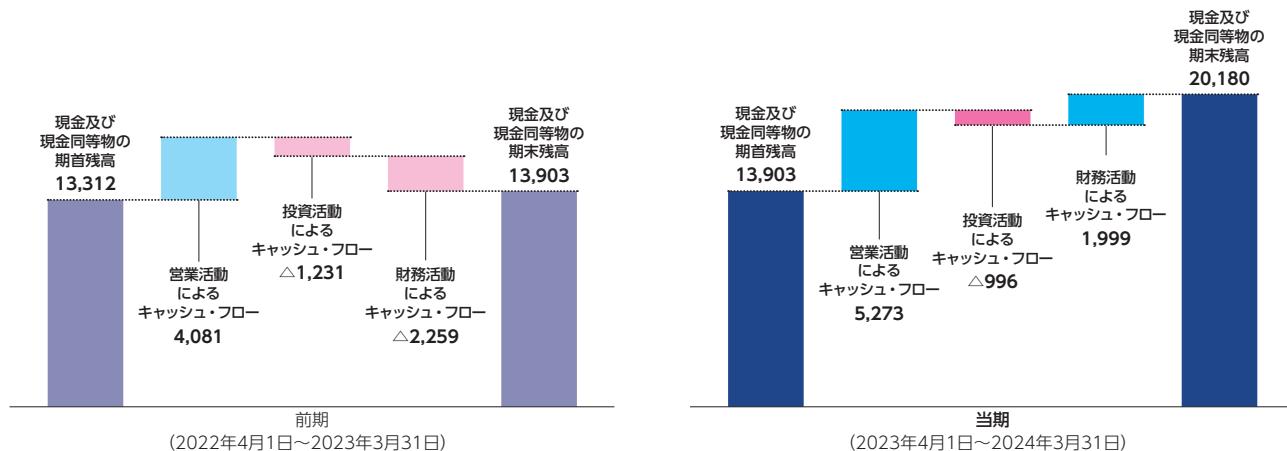
## 連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



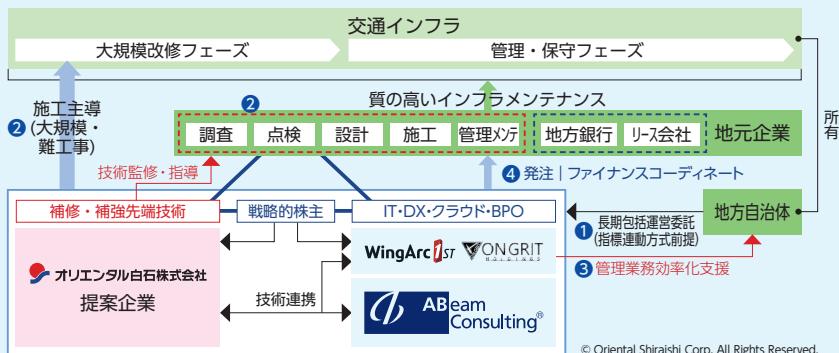
## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



## インフラ運営等に係る民間提案型「官民連携モデリング」業務 (その3：橋梁メンテナンス) 最終報告書を提出 自治体への事業スキーム展開へ

オリエンタル白石株式会社は、国土交通省が公募したインフラ運営等に係る民間提案型「官民連携モデリング」業務(その3：橋梁メンテナンス)において、これまで培った橋梁技術をベースに、「橋梁の包括管理委託・予防保全型管理」を提案し、地方自治体を想定した導入検討支援の実施者に選定されました。当社は、法令とインフラ長寿命化計画に基づいて定期点検が義務付けられている橋梁の点検、診断、修繕、更新、記録といったメンテナンスサイクルに係る自治体業務を効



■ オリエンタル白石が提案する橋梁の包括管理委託・予防保全型管理

率化し、ライフサイクルコストを最適化する事業の受託(①)を想定し、本スキーム導入による課題と効果を検討しました。このたびはその検討結果をまとめた報告書を国土交通省に提出いたしました。以下にスキーム導入による効果検証内容の一部を抜粋します。

### ■ 業務フロー改善による業務効率化：②③

本スキーム導入により、自治体職員の負担の大きい管理業務を包括管理委託事業者に移管することで、発注手続きの標準化や新技術の導入が促進されるとともに、自治体職員は維持管理方針の見直しや修繕計画の策定に集中でき、より高度な橋梁マネジメントが期待されます。

### ■ データ活用による業務高度化：②③

既存のデータセットから意思決定に必要な情報を出力可能であることを確認しました。地理的に近い橋梁や同一事業者にまとめて発注できる予防保全工事のグルーピングなどに利用でき、LCCを抑えた予算執行への活用が期待されます。



© Oriental Shiraishi Corp. All Rights Reserved.

■ 橋梁維持管理マネジメント  
ダッシュボードイメージ

### ■ キャッシュアウト平準化による予算平準化：④

橋梁維持管理のLCC削減には、包括的民間委託による規模の経済が重要であり、包括委託管理事業者が自治体に代わって発注代金の支払い主体となることで、債務負担が可能と考えます。規模が拡大すれば、地域内の資金需要も創出されることを想定し、金融機関の支援以降も確認しています。

### ■ 橋梁維持管理のLCC削減

包括委託開始後、包括委託管理による管理業務の削減やパイニングパワーの発揮によりLCC曲線の勾配を鈍化させます。予防保全的な大規模修繕を行うことで一時的にはコストが増加するものの、予防保全型管理に必要な業務サイクルやデータベースを整備することで将来的なコスト削減に寄与します。日常点検などで発生するランニングコストは、技術開発やICT活用により徐々に低減され、補修コストの縮減が期待されます。

本スキームによる包括的民間委託の実装について、各自治体にて規模や予算、対象とする公共施設や地域特性を考慮しながら計画的に導入することにより、本スキームの運用に関する課題を解決しながら段階的に事業を進めてまいります。

## グループ会社紹介



# 独自の工法と特化技術で社会基盤を創造する



ホームページのご案内  
<https://www.orsc.co.jp/>



### 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	オリエンタル白石株式会社
創業日	1952年10月21日
資本金	50億円
従業員数	750名
事業内容	プレストレストコンクリートの建設工事及び製造販売、ニューマチックケーソンの建設工事、補修補強の建設工事、耐震補強建築工事の設計・施工、建設資材の販売、太陽光による発電事業及びその管理・運営並びに電気の供給、販売
所在地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
代表者	代表取締役社長 大野 達也

## 現場紹介 川袋小川橋上部工工事

本工事は、日本海沿岸東北自動車道の遊佐象潟道路において秋田県にかほ市象潟町に位置し、川袋小川を跨ぐ2径間連続PCラーメン箱桁橋の施工です。

日本海沿岸東北自動車道は、新潟県新潟市を起点として山形県酒田市や秋田県秋田市を経て青森県青森市に至る延長322kmの高速自動車国道です。本工事が位置する遊佐象潟道路は、秋田・山形県境地域の三次救急医療施設への60分圏カバー率の向上、さらには災害時の代替路確保を図るとともに、高速ネットワークを形成し広域的な交流・連携を図ることを目的とする自動車専用道路です。



張出し施工中

### 工事施工手順

STEP1 脚頭部施工

STEP2 柱頭部施工

STEP3 張出し施工

STEP4 側径間部施工

STEP5 橋面施工



工事名称	国道7号 川袋小川橋上部工工事	工期	2023年3月3日～2025年2月26日
発注者名	国土交通省 東北地方整備局	工事内容	2径間連続PCラーメン箱桁橋 (Tラーメン)
工事場所	秋田県にかほ市象潟町川袋 地内		橋長 L=166.0m 支間長 81.7m+81.7m 有効幅員 W=12.010m～12.495m

## 現場紹介 那珂川橋P1下部工事

本工事は、P1橋脚をニューマチックケーソン工法で築造する工事です。工事場所は、国道4号線を補完する重要な幹線道路として都市計画道路に位置づけられている主要地方道西那須野那須線のうち、一級河川那珂川を渡河する新設橋梁の流心部に位置します。

施工箇所は表層部に玉石が多く、土留め工法を併用することが困難であり、かつ、支持層が35mと深いことからニューマチックケーソン工法が採用されました。

本事業は橋梁を含むバイパスを整備し、従前の交通を分散させることで、交通の円滑化と那須塩原エリアの観光周遊性の向上を図ることを目的として地元業者に分割発注されておりますが、渇水期間と限られた期間内での大深度橋脚基礎のため当社のニューマチックケーソン工法が採用されました。



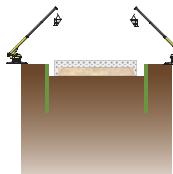
沈下掘削・構築施工中

### ニューマチックケーソン工法の標準施工順序

ニューマチックケーソン工法は、一定した施工プロセスにより確実な工程把握と工期短縮に対応します。

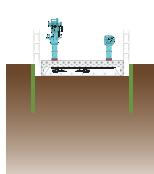
#### Step1・2 据付地盤拵え工・作業室構築工

ケーソンを据え付ける地盤の不陸を修正し、適度な支持力が確保できるよう据付地盤拵えを行います。ケーソンの下部に、作業室としての空間を設けます。



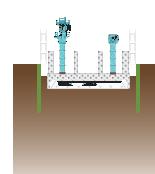
#### Step3 艀装工

空気圧が作用している作業室への出入りや作業室からの土砂搬出のため、鋼製の円型シャフトとロックを設けます。このシャフトをケーソンの沈下とともに継ぎ足します。



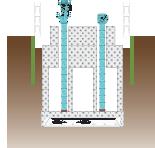
#### Step4 沈下掘削工→構築工

構築は通常4m程度の高さのリフトごとに行います。構築→掘削沈下→構築を順次行い、所定の深さまでケーソンを沈めていきます。



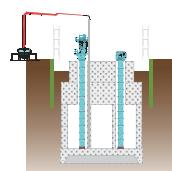
#### Step5 最終沈下・地耐力試験工

所定の深さまでケーソンが沈下した後、作業室内で地耐力試験を行い、所要の地耐力が得られていることを確認します。



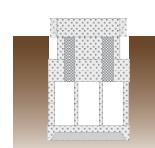
#### Step6 中埋コンクリート工・艀装撤去工

作業室の設備を撤去し、中埋コンクリートを充填した後艀装撤去を行います。



#### Step7 後構築・完成

ケーソン完成後、各構築物に合わせた構築を行います。



工事件名	那珂川橋P1下部工事
契約者	栃木県 県土整備部
契約金額	5億3,701万円 (税抜)
工事場所	栃木県那須塩原市黒磯
契約日	2022年5月23日

契約工期	2022年6月22日～2024年7月26日
工事概要	ニューマチックケーソン基礎工、φ5.5×13.0×20.5(小判),D=35.3m 掘削：2350m <sup>3</sup> コンクリート：2090.2 鉄筋工：243.8t. 根固め工、瀬替え工

## 日本橋梁株式会社 橋梁の新時代を築きあげる



### 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	日本橋梁株式会社
創業日	1919年7月7日
資本金	4,000万円
従業員数	115名
事業内容	橋梁等の鋼構造物の設計・製作・架設・保全工事
所在地	大阪府大阪市西区江戸堀一丁目9番1号
代表者	代表取締役社長 坂下 清信

ホームページのご案内  
<https://www.nihon-kyoryo.co.jp/>



### 現場紹介 松山自動車道 長谷川橋耐震補強工事

本工事は愛媛県四国中央市にある松山自動車道の長谷川橋の耐震補強を実施する工事です。

長谷川橋は昭和50年代に架設された橋梁で、橋梁の耐震設計が当時の規格であるため、現在の規格を満たしていませんでした。そこで耐震設計を行い、鋼桁補強や支承取替、落橋防止装置等を追加した工事です。

また下部工の補強(炭素繊維巻立て)も本工事で施工しています。施工は3径間の鈹桁橋が2橋、単純トラス橋が1橋の上下線で合計6橋の工事です。



完成



部材取込み状況



支承(鈹桁部)取替完了



制震ストッパー構造  
設置完了

工事名称	松山自動車道 長谷川橋耐震補強工事
発注者名	西日本高速道路株式会社
工事場所	愛媛県四国中央市寒川地内
工期	2021年3月~2023年12月
工事概要	鋼3径間連続鈹桁(A1-P3) +鋼単純トラス(P3-P4) +鋼3径間連続鈹桁(P4-A2)



## 確かな技術力をもとに、総合サービスでお応えします。



ホームページのご案内  
<https://taikoh-giken.co.jp/>



### 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	株式会社タイコー技建
創業日	1971年2月1日
資本金	2,000万円
従業員数	37名
事業内容	建設機材の設計・製作、建設機械の維持管理、設備工事・技術サポート、 建設工事(ニューマチックケーソン、橋脚耐震補強等)
所在地	茨城県つくば市緑ヶ原一丁目1番地2
代表者	代表取締役 松野明浩

### TOPICS 「つくば豊里ケンセツランド“祭” inタイコー技建」を開催 (2023年11月25日)

初の試みにもかかわらず、593名が参加、親子連れなど多くの皆様にご来場いただきました。

ステージイベントでは、地元つくばの和太鼓の会やキッズダンスチーム等が、日々の練習の成果を披露してくれました。

各種ブースでは、当現場で撮影された短編映画の上映会、ケーソンシヨベルの遠隔操作体験、高所作業車乗車体験、ラフタークレーン乗車体験、重機ラジコン大会などを開催、建設業の魅力を発信するとともに、当社を知っていただく良い機会となりました。



つくば和太鼓の会によるオープニング演奏

### 現場紹介 池間大橋耐震補強工事

工事名	池間大橋耐震補強工事(R4)
発注者名	沖縄県→株式会社古波蔵組
工事場所	沖縄県宮古島市平良字池間～狩俣地先
工期	2023年8月14日～2024年9月30日
工事概要	宮古島と池間島を結ぶ沖縄県道230号池間大浦線「池間大橋」P12橋脚をSTEP工法にて補修補強する工事です。 エメラルドグリーンの美しい海を汚さぬよう、細心の注意を払いながら施工しています。



STEP工法施工状況

## 山木工業株式会社

港湾・土木・建築工事を営む総合建設会社です。



ホームページのご案内  
<https://www.yamakiind.jp>



### 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	山木工業株式会社
創業日	1941年4月1日
資本金	6,000万円
従業員数	73名
事業内容	港湾・土木・建築工事、省エネ建材の販売
所在地	福島県いわき市平谷川瀬3丁目1番地4
代表取締役	小峰良介

### プロジェクト紹介 新規造船プロジェクト

港湾工事を主要セグメントに掲げている当社は、所有船舶の老朽化、小名浜港の再整備による需要の増加、環境問題対策へ対応するため、新型起重機船団の建造を開始しました(2026年7月完成予定)。

船舶の更新を含めたCO<sub>2</sub>削減目標を設定し、みなとSDGsパートナーの認定を取得、福島県に本社を置く企業としては初の「サステナビリティ・リンク・ローン」を締結しました。



新造船完成イメージ

新造	300t吊全旋回型起重機船
	65m 全幅24m 型深4.0m トンネル型船底 搭載クレーンSKK300t
全長	19t
押船	●内燃機関燃料の変更 (A重油→軽油) CO <sub>2</sub> 1Lあたり3.4%削減 NOx排出量低減
環境・省エネ対策	●環境配慮型の内燃機関を採用
	●発電機2台の自動並列運用による燃費効率改善
	●太陽光発電を搭載
	●蓄電システムによる余剰電力活用
	●スパッド装置、スラスター装置の搭載による揚錨作業の低減
	●トンネル型船底の採用により移動時の燃費を改善



サステナビリティ・リンク・ローン 契約記念式



## “建設産業を若者の人気職業へ”

業界の担い手確保を目的にエンタメ×建設で建設産業をプロモーションします。



ホームページのご案内

<https://creative-land.jp/>



### 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	株式会社クリエイティブ・ラボ
創業	2021年11月1日
資本金	1,000万円
事業内容	建設業プロモーション、企業ブランディング、コンテンツ制作、Webサイト運営
所在地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
代表者	代表取締役社長 岩本 靖



### 受賞紹介 土木学会「土木広報大賞2023」2部門受賞

2022年4月に始動した建設業界の未来を切り拓く「CREATIVE LANDプロジェクト」は、3年目に突入しました。建設業界のイメージアップと建設企業の認知度向上を目指して、日々活動しています。この2年間で、多くの企画を検討し、プロモーション活動やイベント開催、Webサイトのコンテンツ拡充などを行いました。現在、約300社の協賛パートナー企業とともに、建設産業の魅力を広めるために、情熱と創造力を持って取り組んでいます。

本活動は、土木学会が主催する「土木広報大賞2023」において、プロジェクト全体が【企画部門】の優秀部門賞を、音楽アーティストと建設現場のコラボレーション企画が【映像・メディア部門】の準優秀部門賞を受賞しました。



土木広報大賞2023表彰式 優秀部門賞 (6団体)

## 株主アンケート結果

2023年12月から2024年1月に実施した「株主アンケート」におきましては、数多くの株主様よりご回答を頂戴いたしました。ご回答いただきました株主の皆様におかれましては、お忙しい中ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

なお、頂戴いたしました株主様からの貴重なご意見・ご要望等につきましては、今後の経営やIR活動等の参考にさせていただきたいと存じます。

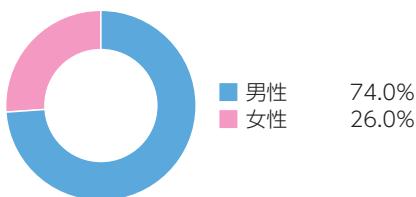
以下に、今回の「株主アンケート」の結果についてご報告させていただきます。



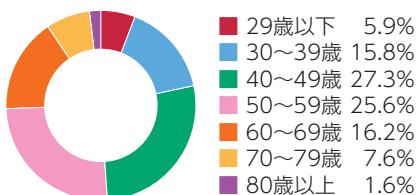
### 「株主アンケート」概要

アンケート方法	WEBでのアンケートを実施（「中間株主通信」に概要を掲載）
アンケート対象者	2023年9月30日時点 株主名簿記載の株主様
アンケート対象人数	27,729名
アンケートご回答数	2,228名
アンケートご回答率	8.0%

### ご回答いただきました株主様の性別



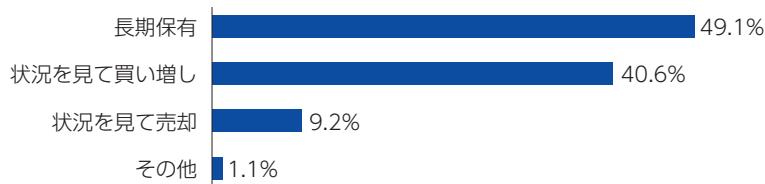
### ご回答いただきました株主様の年代



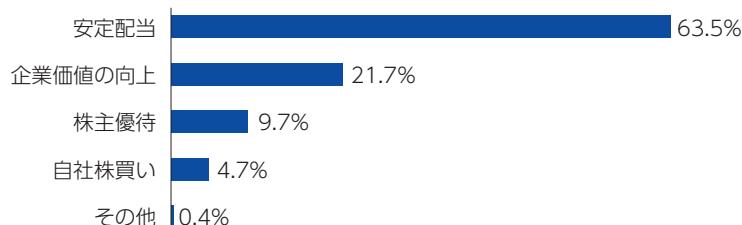
### Q 当社株式を購入された際、重視されたポイントをお選びください。 (複数回答)(上位5位)



### Q 今後の当社株式に関して、あなたのお考えに近いものをお選びください。



### Q 今後、株主還元として、当社に最も期待することは何ですか？



# 企業情報

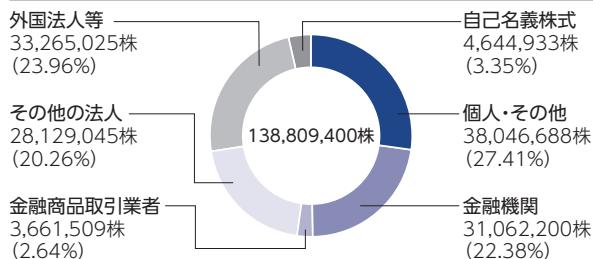
## 会社概要 (2024年3月31日現在)

商号	オリエンタル白石株式会社
	 <b>オリエンタル白石株式会社</b>
創業	1952年10月21日
資本金	50億円
従業員数	(連結)976名 (単体)750名
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレストレストコンクリートの建設工事及び製造販売</li> <li>・ニューマチックケーソンの建設工事</li> <li>・補修補強の建設工事</li> <li>・耐震補強建築工事の設計・施工</li> <li>・建設資材の販売</li> <li>・太陽光による発電事業及びその管理・運営並びに電気の供給、販売</li> </ul>
所在地	東京都江東区豊洲五丁目6番52号
URL	<a href="https://www.orsc.co.jp/">https://www.orsc.co.jp/</a>
上場証券取引所	東証 プライム市場
主要取引銀行	株式会社三菱UFJ銀行 株式会社三井住友銀行 株式会社みずほ銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社りそな銀行

## 株式の状況 (2024年3月31日現在)

発行可能株式総数	138,809,400 株
発行済株式の総数	138,809,400 株
株主数	27,887 名

## 所有者別状況



## 取締役 (2024年6月26日現在)

代表取締役社長	大野 達也
取締役	正司 明夫
取締役	橋本 幸彦
取締役	水野 敏昭
社外取締役	加藤 英明
社外取締役	酢谷 裕子
社外取締役	森永 博之
社外取締役	磯和 春美
取締役(監査等委員)	竹田 雅明
社外取締役(監査等委員)	小島 公彦
社外取締役(監査等委員)	千葉 直人

## 大株主 (2024年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率 (%)
伊藤忠商事株式会社	20,142	15.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,704	12.45
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	10,508	7.83
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	9,060	6.75
JP MORGAN CHASE BANK 385632	2,120	1.58
J.P. MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMS RE CLIENT ASSETS-SEGR ACCT	2,000	1.49
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	1,843	1.37
オリエンタル白石社員持株会	1,813	1.35
MSIP CLIENT SECURITIES	1,577	1.17
株式会社日本カストディ銀行(年金信託口)	1,412	1.05

(注) 持株比率は、発行済株式総数から自己株式を控除した株式数を分母に用いて算出しております。

## WEBサイトのご案内

QRコード→



最新のIR情報など、様々な情報を提供しておりますので、ぜひご覧ください。

オリエンタル白石

検索

<https://www.orsc.co.jp/>



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 その他必要があるときは、取締役会で決議し、あらかじめ公告する一定の日 中間配当金 9月30日 期末配当金 3月31日
公告方法	当会社の公告方法は、電子公告とする。 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告は、日本経済新聞に掲載して行う。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 (同連絡先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 <a href="tel:0120-232-711">☎ 0120-232-711</a>

### 表紙写真について

工事名称：日高自動車道 新冠町 神山川橋上部工事  
工事箇所：北海道 新冠郡 新冠町  
工期：2022年2月18日～2023年11月20日  
発注者：北海道開発局 室蘭開発建設部 苫小牧道路事務所  
工事内容：2径間連続 PC(プレストレストコンクリート)ラーメン箱桁橋  
橋長：144.0m 幅員：12.6m 支間長：71.1m+71.1m  
架設方法：張出し架設工法



## 単元未満株式の買取制度について

当社では証券市場で株式を売買できる取引単位(単元株式)を100株とさせていただいており、単元未満株式(1～99株の株式)については、証券市場においては売買することができません。

そのため、ご所有の単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(単元未満株式の買取請求)がございます。

単元未満株式の買取請求に関するお手続きの詳細については、お取引先の証券会社等(口座管理機関)にお問い合わせのうえ、お手続きください。また、特別口座に登録されている単元未満株式の買取請求をされる場合は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社に お問い合わせのうえ、お手続きください。

### 単元未満株式の買取制度を利用

単元未満株式を当社に対して市場価格で売却する制度です。

具体例

50株

50株

買取制度をご利用 ↓ 当社に50株売却

50株をお持ちの  
株主様

現金化

¥ ¥ ¥ ¥ ¥ ¥

 **オリエンタル白石株式会社**

〒135-0061 東京都江東区豊洲五丁目6番52号(NBF 豊洲チャンネルフロント)  
TEL.03-6220-0630 FAX.03-6220-0641 URL.<https://www.orsc.co.jp/>

**UD  
FONT**

 ミックス  
紙 | 責任ある森林  
管理を支えています  
FSC® C022915

 **VEGETABLE  
OIL INK**

見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。  
この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。